

大手前中・高等学校入試について



大手前中高等学校教諭
入試対策部 渋谷 幸美

55期生（現高校1年生）は、亀井校長教育改革の1期生です。

Internationalコースの生徒達は、コンコードカレッジ組が9月12日から、セントマイケルズ組は9月18日より約10ヶ月間の海外留学をスタートしています。また、特別進学クラスでは毎朝8時より0限授業が始まり、センター試験対策テストを実施。放課後は、『レベルアップ補習』や『学内での予習復習』に取り組んでいます。週テストや宿題システム等、基礎学力を伸ばす本校独自の学習システムも定着し、五ツ木模擬試験の偏差値も確実に向上しています。新教育改革の成果が認知され、昨年度中学入試の志願者は289名（前年度比144%）と大幅増を果たしました。これも卒業生の皆様のお陰と感謝致しております。

リアルタイムで学校の様子を知っていただくようにと、ホームページを入試対策部でリニューアルしました。是非ご覧下さい。

中学校入試

- ・募集人員 約138名（特進1クラス 進学3クラス）
- ・入試日程

A日程	1月22日（土）
	出願 1月11日（火）～21日（金） 日曜可
	発表 1月23日（日） 10:00～11:00 本校にて手渡し
	合格者手続き 1月24日（月） 午後3:00まで銀行振込み 合格者説明会 1月25日（火） 特進クラス 9:30より 進学クラス10:00より
受験科目	I型 ①4教科総合問題 ②4教科から1教科選択 ③面接
	II型 ①国語 ②算数 ③面接
B日程	1月24日（月） 15時入試
	出願 1月11日（火）～24日（月） 午後3:00まで受付 日曜可
	発表 1月25日（火） 10:00～11:00 本校にて手渡し
	合格者手続き 1月25日（火） 午後3:00まで銀行振込み 合格者説明会 1月26日（水） 特進クラス 9:30より 進学クラス10:00より
受験科目	①国語 ②算数 ③面接
C日程	1月27日（木）
	出願 1月11日（火）～27日（木） 9:00まで受付 日曜可
	発表 1月27日（木） 夕刻電話で連絡
	合格者手続き 1月28日（金） 10:30～11:30まで 学校事務室（現金にて）
受験科目	合格者説明会 1月29日（土） 特進クラス 9:30より 進学クラス10:00より
	①国語 ②算数 ③面接

変更点

1. コース募集より特進クラスを含む一括募集に変更します。現コース制は特別プログラムとして中2から選択します。
2. A日程の入試科目は、I型とII型のどちらで受験してもかまいません。
3. 中学課程を重要視し、国語・数学・英語の3教科にシフトしたカリキュラムに変更します。

高校入試

- ・募集人員 外部より特進クラス・各コース併せて約30名
特進クラス＝国公立大学進学
※各コースから、希望により成績上位生徒を選抜する。
- International（国際留学）コース
- Bio Science（理系 医・歯・薬）コース
- Exceed（Liberal＜文系総合＞）コース
- Exceed（Venture＜起業育成＞）コース

入試日程

1次	専願のみ	2月10日（木）
	出願	1月31日（月）～2月4日（金）
	発表	2月10日（木） 夕刻 郵送
	合格者手続き	2月14日（月） 午後3:00まで銀行振込み
受験科目	合格者説明会	2月15日（火）
	①英語 ②国語 ③理科 ④数学 ⑤社会	※外部受験生のみ面接あり

1. 5次・2次入試 実施予定

私の青春、追手門学院

大中高25期 康 祐國

現在、大阪市生野区にて、ごく普通の歯科医院を営んでいます。学生時代は康本姓でした。

私の追手門での忘れ得ぬ思い出は、昭和51年、高校3年の6月にさかのぼります。3年3組のクラスメート全員で、土曜日の夜から日曜日の朝にかけて、京都から大阪まで11時間かけて夜歩きを行いました。その後の追手門の夜行軍の先駆けです。生徒達で発案、企画し、コースの下見をし、参加者全員が完歩しました。約束事であった、翌日の朝、全員が遅刻する事なく登校する事も見事達成しました。その時に見た朝陽に輝く大阪城の美しさは今も目に焼きついています。

そして、それを機にクラスが一つにまとまりました。

その年の文化祭、運動部による模擬店が中止されかけた時、3年3組が中心となり、先生方と折衝し、運動部の模擬店を認めて頂きました。

又、その頃、男子生徒の髪の毛の長さは詰襟まで、という校則が強化される、男子生徒にとっての重大事件が勃発しました。今となっては他愛ない事ですが、その当時は長髪が流行りで、生徒側もその校則強化を阻止する為に必死でした。その中心を担ったのは3年3組を含む25期でした。我々が考えたのは、まず男子生徒全員が校則に準じ、自主的に髪の毛を切り、その上で先生方と校則改正の話し合いをしようと言う事でした。結局はその問題は、皆で髪の毛を切った後、校則の強化もなく、うやむやになり消えていったのですが、その頃の私達は、私達なりに愛校心の名の下、一致団結を学内中に働きかけました。

又、秋の球技大会の時には、それまでの追手門の歴史にはなかったクラス応援団を作り、大会を大いに盛り上げました。

この様に、3年3組そして25期の独創的で破天荒な逸話は数えきれない程あります。

私にとって、このクラス、そして25期の皆はかけがえの無い友です。高校卒業以来、全く会っていない友人もかなりいますが、この25期の皆は私の心の拠り所であり、宝物です。今も私の書斎には、京都から大阪まで完歩した時の写真が色褪せる事なく飾ってあります。（本当は、かなり色褪せているらしいが、私の目には燦然と輝いているようにしか見えません。）

今、私の長女は追小を卒業し、大手前学舎の中学2年生です。息子達は、同じく追小の6年生と3年生です。子供達と同じ校友会山桜会の会員である喜びを噛み締めています。

追手門学院は、私の青春そのもの、心のふるさとです。愛してやまない母校です。これからも宜しくお願い致します。

（追記：私のパソコンのメールアドレスです。wookook1@ninus.ocn.ne.jp）

